

平成 18 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 オムロン株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 作田 久男
 コード番号 6645
 上場取引所 東証、大証、名証各市場第一部
 問 合 せ 先 経営企画室 経理部長 春田 正輝
 T E L 075 - 344 - 7070

平成 19 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 4 月 26 日の決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の連結および単独の通期業績予想について、下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期の通期業績予想の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(1) 連結通期業績予想の修正(米国会計基準) (単位：百万円)

	売 上 高	税引前純利益	当期純利益
前回発表予想(A)	700,000	65,000	37,500
今回修正予想(B)	740,000	65,000	37,500
増 減 額 (B-A)	40,000	—	—
増 減 率 (%)	5.7%	— %	— %
(ご参考)前期実績(平成 18 年 3 月期)	626,782	64,352	35,763

(2) 単独通期業績予想の修正 (単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想(A)	342,000	25,000	26,000
今回修正予想(B)	342,000	28,000	33,000
増 減 額 (B-A)	—	3,000	7,000
増 減 率 (%)	— %	12.0%	26.9%
(ご参考)前期実績(平成 18 年 3 月期)	312,072	31,830	28,632

2. 修正の理由

(1) 連結通期業績予想の修正理由

当社グループの関連市場は、主力のF A用制御機器が下期以降も企業の設備投資需要を背景に底堅く推移することが予想されるとともに買収子会社の売上が寄与するため、売上高は当初予想を上回る 7,400 億円に修正いたしました。

税引前純利益および当期純利益は、銀・銅など原材料の高騰によるコスト増加が予想されるものの、為替の円安効果とともに販管費の効率運用、退職給付信託設定益の増加などにより当初予想どおりの税引前純利益 650 億円、当期純利益 375 億円を見込んでおります。

(2) 単独通期業績予想の修正理由

当社の関連市場は、連結業績と同様に下期以降も底堅く推移することが予想され、売上高は当初予想どおりの 3,420 億円を見込んでおります。

経常利益は、販管費の効率運用により当初予想を上回る 280 億円に修正いたしました。

また当期純利益は、経常利益の増加に加えて退職給付信託設定益の増加と連結納税導入効果などもあり当初予想を上回る 330 億円に修正いたしました。

(注) 当業績予想につきましては、現時点で得られた情報にもとづいて算定しておりますが、設備投資需要動向など業況の変化、各種通貨間の為替レート変動など、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、内外環境変化などにより今回の業績予想と乖離することもあり得ますので、ご承知おき下さいますようお願い申し上げます。

以上